2023年度　GSSC紀要　研究論文（査読付）　要望調査票

【概要】

日本大学大学院総合社会情報研究科の発行する紀要では、2023年度から査読付きの研究論文を受け付けることになりました。しかしながら、査読に関わる体制・人員等のリソースが限られていることから、2023年度は、各分野で2名まで（合計6名程度）を限度とします。公平性を期すことと、査読付き論文に、どの程度の要望があるかの調査を目的として、本調査票を実施することになりました。

【本調査票への回答】

　2023年度に、GSSC紀要への査読付き原稿の投稿を希望される方は、下記の留意事項を確認、及び確認事項にチェックの上、**推薦者（または指導教員）を通して**、本年5月14日までに、本要望書を提出して下さい（**本人からの直接の送付は不可**）。なお、原稿受け付けの可否については、5月末日までにご連絡致します。

【留意事項】

・原稿の受け付けは、後期課程在校生を第1優先、修了生で論文博士を目指しておられる方を第2優先とします。

・原稿を7月15日までに投稿可能な方に限定します。

・査読のプロセスには、最低でも5ヵ月を要します。そのため、掲載可能な号は2023年度第2号、または2024年度以降となることが見込まれます（但し、採用〔=掲載可〕の通知が出された時点で、業績としてカウントすることができます）。

【確認事項】

（　　）原稿の提出は、推薦者（または指導教員）の了解を得ている。

（　　）原稿は7月15日までに提出可能である。

（　　）査読のプロセスには、時間を要することを了解している。

（　　）提出原稿が不採用と判定された場合は、同じ原稿は、他のカテゴリーであっても、本紀要には再投稿できないことを了解している。

指導教員（分野）　　　　　　　　　　（　　　　　　）

氏名（投稿者）

論文課題名（仮題で可）

年　　月　　日

要望書提出先：[e-journal@gssc.nihon-u.ac.jp](mailto:e-journal@gssc.nihon-u.ac.jp)